

目次

◎ 提言の要約	2
はじめに	3
第1章 現状分析	3
1 地方税の減収と滞納額の増加	
2 税務職員数の減少と短い経験年数	
3 高齢者・高所得者の高い収納率	
4 賦課部門と徴収部門の連携（アンケート結果抜粋）	
第2章 課題の抽出	8
地方税の減収と今後の課題	
1 賦課部門と徴収部門の連携	
2 税務職員数減及び知識・ノウハウの蓄積不足	
3 若年層に高い滞納率	
第3章 施策の提言	9
提言1 情報の共有化	
1 情報共有化ワーキングの実施	
2 かわら版の作成	
提言2 賦課・徴収業務の整備	
1 収納率向上マニュアルの作成	
2 アクションリーダーの育成	
提言3 税金の啓発活動	
租税教室の実施	
おわりに	15

提言の要約

組織の力を生かした 効率的な収納率の向上を目指して

現 状

- 地方税の減収と滞納額の増加
- 若年層に高い滞納率
- 税務職員の減少及び短期の異動年数による専門性の劣化
- 住民の税に対する意識の変化

課 題

- 経済不況に伴う地方税の減収への対策
- 税務職員の知識・知恵不足への対策
- 賦課部門と徴収部門の連携不足への対策
- 若年層に高い滞納率への対策

方 針

組織の力を発揮して

収納率UPに向けた具体的施策を提案します。

提 言

提言 1

情報の共有化

- ・ワーキングの実施
- ・かわら版の作成

効果

- ・賦課徴収の連携強化
- ・他課情報がすぐわかる

提言 2

賦課・徴収業務の整備

- ・マニュアルの作成
- ・リーダーの育成

効果

- ・税務知識の向上・平均化
- ・モチベーションの向上

提言 3

税金の啓発活動

租税教室の実施

効果

納税者の意識改革